つるさき

神宮神職の案内で内宮参拝前の記念撮影

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

御田植え前の神宮神田

御塩を作る御塩殿

神幸祭の鬼

昨年の神幸祭は生憎の雨天のために中止となり、とても残念でしたが、今年は昨年の分まで晴れてくれる事を祈ります。

当社の神幸祭は「お練り」とも呼ばれていて二基の神輿を中心に一五〇人もの供人の方々が奉仕する大規模な「まつり」ですが、この「お練り」に付きものが鬼です。

当初の鬼は氏子の有志が手作りの面や衣装を着けて、数十匹が神幸祭に加わっていたようですが、悪さが過ぎて、一時衰退しましたが、最近になりまた復活致しました。

神幸祭に加わる鬼は、決して神輿の前を歩いてはいけないとされています。

これは、神輿にお祀りしている五十狭芹彦命（吉備津彦命）が、吉備冠者と呼ばれていた温羅（鬼）との戦いで勝利した時に、温羅が吉備冠者の名つまり吉備津彦命の名を捧げたので、それから後、温羅は吉備津彦命に従う事となったのが由来です。

吉備津彦命と鬼の関係は歴史上深い繋がりがある事から、神幸祭にもたくさんの鬼が出るようになったようです。

鶴崎神社の鬼を神幸行列共々お出迎え下さい。

真新しい社殿で特別参拝
氏子が伊勢参宮

昨年十月に式年遷宮を終えて間もない伊勢神宮。この新宮への参拝者を募集したところ、三十二名の氏子が参加して五月七・八日一泊二日で参拝を実施した。

今回の参拝は、外宮、内宮に参拝する事が目的であるが、神宮をより深く実感するために神宮の祭祀に欠かせない米を作る神田、野菜と果物を作る御園、塩を作る御塩殿なども見学した。

神田では、三日後に控えた御田植祭の準備で多忙な中、調度部御料地課の山口技師が栽培する約十トンの米の品種や方法などを説明した。

御園では、野菜と果物を見学しながら祭祀に合わせて数量や大きさを整える苦労や、日本語表記を有する物のみ栽培する事などの説明を受けた。

御園で説明を受ける参加者

その後、御塩殿と二見興玉神社に参拝し、鳥羽に投宿。

翌日は衣服を改め先ず外宮で修祓を受けた後に特別参拝。せんぐう館を見学の後、内宮に向かう。

内宮神楽殿では湯茶の接待を受け、広間に正座して倭舞と人長舞の神楽を奉納した。

奉賛部内宮賽務課の内山宮掌の案内により内宮の特別参拝。外宮同様、修祓の後、玉石を踏みながら御垣内に参入、真新しい社殿前に整列しての拝礼。心改まる一瞬である。

内山宮掌から遷宮や施設の説明を受け参宮を締め括った。

内宮神楽殿で湯茶の接待を受ける参加者

神道Q&A

【質問】

家の神棚とは別に部屋の隅に小さな社があり、金神というお札が入っています。金神とはどのような神様ですか。

【答え】

金神は平安末期に伝えられた方角についての信仰です。金神は恐ろしい神で金神の禁忌を犯すと必ず金神が怒って親族七人を殺し、その家に七人がいなければ、災いは隣家にまでも及ぶとされて来ました。

従って、金神のいる方角の普請や土木工事は起工してはならないとされ、忌み嫌われています。

金神の在する方位はその年の十干によって決まりますが、金神は年の内、幾度かは別の方角に変わる時があります。これを遊行日と言い、金神が遊行した方角以外は犯しても構わないとされています。

また、春の丑の日、夏の申の日、秋の未の日、冬の酉の日は間日と言って金神の方角を犯しても良いとされています。

金神の在する方位

甲・己の年	午・未・申・酉の方角
乙・庚の年	辰・巳の方角
丙・辛の年	子・丑・寅・卯・午・未の方角
丁・壬の年	寅・卯・戌・亥の方角
戊・癸の年	子・丑・申・酉の方角

金神の遊行日

	遊行の期間	遊行する方位
通年	甲寅の日から５日間	午の方へ
	丙寅の日から５日間	酉の方へ
	戊寅の日から５日間	中央（家の中）へ
	庚寅の日から５日間	子の方へ
	壬寅の日から５日間	卯の方へ
春（立春から春の土用まで）	乙卯の日から５日間	午の方へ
夏（立夏から夏の土用まで）	丙午の日から５日間	酉の方へ
秋（立秋から秋の土用まで）	辛酉の日から５日間	子の子方へ
冬（立冬から冬の土用まで）	壬子の日から５日間	卯の方へ

安原伝兵衛物語

4

村はずれの街道に一軒馬宿がある。半裸姿の、少々柄の悪い馬子たちが働いている。そこに伝兵衛が現れた。「馬子に雇ってつかあさい」と伝兵衛が親方に頼むと、躯は一人前だが、顔はまだ幼さが残っている伝兵衛を品定めするように訊ねた。

「馬を扱えるかね、荒っぽい仕事じゃけんな。途中で投げだすなんてこたぁないじゃろうか」

「牛も馬も馴れたもんですけえ雇ってつかぁさい」

「そうか、馬子ひとり怪我したもんで、岡山まで行ってくれるかね」

「まかしてつかぁさい」伝兵衛はとにかく仕事にありついた。

この馬宿が見えなくなった辺りまで馬は順調に歩いた。それから大変だった。馬は道傍の草を食むやら放尿するやら引けども引けども一歩も動かない。どうやら素人だと舐め切ったらしい。道行く人々が喧しがっている。岡山に着けるのはいつのことやら心細くなった。すると親切なお武家さんが見るに見かねて手伝ってくれた。

そのお武家さんにかかると馬は逆らわずに歩きだした。

「馬は人を見るからな。自信を持って甘やかさぬよう、厳しくしつけるのだ。そして愛情を持ってやさしく接することだ。まあそのうち馴れるだろう。今日のところは拙者が横についているから自信を持ってやってみろ」お武家さんのお蔭でどうやら馘首にもならず岡山に辿り着けそうだ。

お別れする頃には馬子としてやっていける自信がついた。馬宿には石頭、馬が飼われている。その世話がすべて新米の伝兵衛に回ってきた。

お武家さんが言った通り、いつも世話する伝兵衛に五頭とも心を許すようになり、どの馬とも楽しく街道を往復できるようになった。足腰が強くなった。生まれつき気性と顔立ちは優しいので、岡山の旅篭から贔屓にされた。

ある日、空荷で帰るところを旅籠の女将さんから呼び止められた。大事な客とその荷を船着場まで送り届けて欲しいと言われた。現れた客は、屈強で眼光鋭い中年の男だった。何やら力仕事をしている人らしい。でも立派な身なりからすると大店の旦那のようでもある。荷物は叺が二つ、持ち上げると、かなり重い。不思議な客だった。道中は長いのでその客は話しかけてくるが、変わった訛り言葉だ。

「どこまで行きなさるんで？」伝兵衛も少し他所行きの言葉だ。「出雲へ帰えーけん。」

お前さんは他国へ行ったことがあーかね？」伝兵衛は首を振った。

「見たところ若げなが、なして馬子をしちょうかね。顔つきからすると馬子などするようには見えんけん。そげだ、馬子を馬鹿にしちょうつもりはないけんな」

顔に似合わず気持ちの優しい客だと思い、伝兵衛は父の出奔、家族のために銭を稼ぐ必要に迫られて馬子になってやっと馴れたところだと話した。

客は伝兵衛に深く同情した様子で、馬子では銭は稼げんぞと、自分の身の上話を語り始めた。

客は錦織弥太夫と言い、出雲多伎の生まれで石見銀山の山師（鉱山経営者）だった。備中の山奥にある銅山が廃坑になり、商売道具の鑿を安く仕入れて帰国するところだった。

伝兵衛にとって何もかも初めて聞く事ばかりだった。銀山がどんな山なのか想像もつかないけど、高価な銀を掘るなんて、夢のようで実感がわかない。この客が金持ちなのは銀を手にしているからなのかなと思った。これまでの人生で一番面白い話だった。伝兵衛が興味津津、聞き惚れているのを見て、「お前さん思いきって銀山に来ないかや。真剣に働けば失った田畑を買い戻せるかもしれん。銀山では若者も大勢働いているけんな、仲間がおるわね」

弥太夫の思いがけない誘いはとてもうれしかった。夢のようだけど現実はきびしい。わずかな稼ぎを当てにしている家族がいる。どうして一人出雲だか石見に行くことができよう。

弥太夫はそんな伝兵衛を慰めてくれた。

「伝兵衛さんや、若いけんな、この先いくらでも機会があーわね。その時は山師の錦織弥太夫と言うてごしない。銀山で儂を知らん者はおらんけんね」舟着場に辿り着くと、弥太夫は伝兵衛を労い、駄賃以外に三百文をくれた。こんなに銭をくれた客はない。弥太夫と石見銀山、この二つが伝兵衛の心に深く刻まれた。（次回につづく）

さほ × さほ Smile
ミニコンサート

♬と　き　10 月 18 日（土）
午後 5 時 30 分～ 6 時 10 分

♬ところ　鶴﨑神社拝殿

秋祭りの夜に開催致しますので美しいハーモニーを是非鑑賞して下さい。

主な合唱曲

1．レット・イット・ゴー　～ありのままで～
2．花は咲く
3．にじ　　他数曲

さほ × さほ Smile とは…

平成 16 年、講師の山口知子を中心に、奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園（倉敷市）に通う園児の保護者有志で結成したコーラスグループ。
倉敷市私立幼稚園 PTA 連合会音楽交流会への参加、幼稚園、病院、子供サークル等での活動を行っている。

鶴﨑神社のホームページがリニューアルしました。 見てね！ http://turusaki2.web.fc2.com/

祭事暦

十月十八日（土）
鶴﨑神社秋季大祭【供膳祭】［午前十時］
八幡神社秋季大祭［午後七時］
（露店あり）
十月十九日（日）［午前九時］　神幸祭
十一月中　七五三祈祷
十一月二十三日（日）［午後二時］
新穀感謝祭
一月二日（金）［午後二時］　年始祭
毎月一日［午前九時］　月次祭
※月次祭はどなたでも参列出来ますので、お誘い合わせご参拝下さい。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。
◆初宮詣・七五三詣・交通安全・厄除・九星災難消除・安産・家内安全・当病平癒・学業成就・その他
◆地鎮祭・上棟祭・家遷清祓・埋井祭・改装清祓・解体清祓宅神祭・神葬祭・霊祭等
ご希望の方は前もってご連絡下さい。